



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月1日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4044 URL http://www.cgco.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 皿澤 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 河部 守弘 TEL 03-3259-7062
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	161,088	△8.0	8,864	△19.9	10,425	△12.1	7,714	△13.5
28年3月期第3四半期	175,160	22.8	11,064	40.3	11,863	16.5	8,916	24.2

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 7,262百万円 (△22.8%) 28年3月期第3四半期 9,407百万円 (△32.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	37.60	—
28年3月期第3四半期	42.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	292,326	164,125	55.2
28年3月期	278,907	159,946	56.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 161,417百万円 28年3月期 157,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	11.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注2) 平成29年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	227,000	△3.6	13,000	△6.8	13,400	△8.3	10,000	△0.5	48.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	214,879,975株	28年3月期	214,879,975株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	10,334,119株	28年3月期	8,424,949株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	205,185,937株	28年3月期3Q	207,967,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費の回復には依然弱さが見られるものの、雇用環境の改善基調が続いており、輸出の持ち直し等による企業収益の底堅さが見られ、景気は全体として緩やかな回復基調となりました。

一方、世界経済は、米国では個人消費の増加を背景に景気回復が続いているものの、米新政権の政策の動向、中国の成長率低下、英国のEU離脱決定の影響や世界的な地政学的リスクの高まりなどにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしましたが、円高と前期生産停止した事業などの影響により、当第3四半期連結累計期間の売上高は161,088百万円と前年同期比8.0%の減少となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、経常利益は前年同期比1,438百万円減少の10,425百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1,202百万円減少の7,714百万円となりました。

②セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、住宅需要が堅調に推移しており、省エネ関連商品などの販売も増加しましたことから、売上高は前年同期を上回りました。

自動車用ガラスにつきましては、国内の軽自動車向けの出荷が減少したことに加え、北米の自動車市場は好況であるものの為替の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。

電子材料用ガラスにつきましては、タッチパネル関連製品の出荷量減少から、売上高は前年同期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は104,713百万円（前年同期比8.2%減）となり、損益につきましては1,127百万円の営業利益（前年同期比1,111百万円の増加）となりました。

(化成事業)

化学品につきましては、フルオロカーボン製品の出荷は増加しましたが、ソーダ灰関連製品の生産停止により、売上高は前年同期を下回りました。

ファインケミカルにつきましては、半導体リソグラフィ関連製品やリチウムイオン電池用電解液は増加しましたが、医薬品関連製品や半導体用途の特殊ガスなどが為替の影響も受けて輸出売上が減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

肥料につきましては、市場ニーズが高い省力肥料の出荷は増加しましたが、販売価格低下の影響により、売上高は前年同期を下回りました。

ガラス繊維につきましては、電子材料並びに自動車分野の出荷が堅調に推移し、売上高は前年同期並みとなりました。

以上、化成事業の売上高は56,375百万円（前年同期比7.7%減）となり、損益につきましては7,736百万円の営業利益（前年同期比3,306百万円の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、株価の上昇などにより投資有価証券が8,761百万円、受取手形及び売掛金が5,102百万円、設備投資などにより有形固定資産が3,152百万円増加したことなどにより、13,418百万円増加し292,326百万円となりました。

負債は、有利子負債が6,351百万円増加したことなどにより、9,240百万円増加し128,201百万円となりました。

純資産は為替換算調整勘定が7,298百万円、配当の支払と自己株式の取得により3,264百万円減少する一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が7,714百万円、株価の上昇などによりその他有価証券評価差額金が6,970百万円増加したことなどにより、4,178百万円増加し164,125百万円となりました。また、自己資本比率は1.1%減少し55.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、ほぼ計画に沿った業績で推移しておりますため、平成28年5月11日に公表いたしました通期の業績予想は修正しておりません。この業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,372	20,228
受取手形及び売掛金	45,547	50,650
商品及び製品	27,139	24,664
仕掛品	2,771	3,326
原材料及び貯蔵品	15,689	14,544
その他	7,383	6,543
貸倒引当金	△159	△123
流動資産合計	117,745	119,833
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,218	25,358
機械装置及び運搬具(純額)	37,281	35,086
土地	25,077	24,823
建設仮勘定	13,047	18,685
その他(純額)	3,356	3,179
有形固定資産合計	103,980	107,132
無形固定資産		
のれん	104	47
その他	1,356	1,158
無形固定資産合計	1,460	1,206
投資その他の資産		
投資有価証券	50,011	58,773
その他	6,032	5,673
貸倒引当金	△323	△292
投資その他の資産合計	55,720	64,154
固定資産合計	161,161	172,493
資産合計	278,907	292,326

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,884	20,713
短期借入金	25,899	18,038
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	2,113	666
賞与引当金	1,430	416
その他	21,644	23,022
流動負債合計	70,971	72,857
固定負債		
社債	20,400	10,400
長期借入金	9,128	23,341
役員退職慰労引当金	12	12
特別修繕引当金	4,439	4,927
事業構造改善引当金	3,728	3,168
環境対策引当金	145	145
退職給付に係る負債	7,233	7,569
その他	2,901	5,778
固定負債合計	47,989	55,343
負債合計	118,961	128,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,117	8,117
利益剰余金	114,610	120,319
自己株式	△4,377	△5,381
株主資本合計	136,519	141,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,222	25,193
繰延ヘッジ損益	61	104
為替換算調整勘定	1,876	△5,421
退職給付に係る調整累計額	425	316
その他の包括利益累計額合計	20,586	20,192
非支配株主持分	2,840	2,707
純資産合計	159,946	164,125
負債純資産合計	278,907	292,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	175,160	161,088
売上原価	137,615	126,344
売上総利益	37,545	34,744
販売費及び一般管理費	26,481	25,879
営業利益	11,064	8,864
営業外収益		
受取利息	14	16
受取配当金	871	1,103
持分法による投資利益	358	303
為替差益	161	321
その他	1,024	1,276
営業外収益合計	2,431	3,020
営業外費用		
支払利息	314	330
製造休止損失	341	310
固定資産廃棄損	457	333
その他	517	485
営業外費用合計	1,631	1,459
経常利益	11,863	10,425
特別利益		
固定資産売却益	18	138
投資有価証券売却益	337	102
特別利益合計	356	240
税金等調整前四半期純利益	12,220	10,665
法人税等	3,288	2,743
四半期純利益	8,931	7,922
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	208
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,916	7,714

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	8,931	7,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,063	6,922
繰延ヘッジ損益	190	43
為替換算調整勘定	△798	△6,987
退職給付に係る調整額	131	△112
持分法適用会社に対する持分相当額	△111	△525
その他の包括利益合計	475	△660
四半期包括利益	9,407	7,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,424	7,320
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	△58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	114,110	61,049	175,160	—	175,160
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	957	972	△972	—
計	114,125	62,007	176,133	△972	175,160
セグメント利益(営業利益)	15	11,043	11,059	4	11,064

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	104,713	56,375	161,088	—	161,088
セグメント間の内部 売上高又は振替高	127	812	939	△939	—
計	104,841	57,187	162,028	△939	161,088
セグメント利益(営業利益)	1,127	7,736	8,864	—	8,864

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。